

◆ 会社の概況

商号 丸善CHIホールディングス株式会社
(Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.)
本社 〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町31番地2
代表番号 03-6735-0785
URL <https://www.maruzen-chi.co.jp>
設立 2010年2月1日
資本金 30億円
事業内容 書籍及び雑誌等の販売、学術情報その他情報提供サービス業、並びに図書館運営受託業務及び図書館等の教育施設の運営代行、建築工事の設計・監理及び請負業、図書、雑誌の出版業等の事業を営む会社の株式を保有することによる当該会社の事業活動の管理 他

◆ グループ会社

- 丸善雄松堂株式会社
〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18
- 株式会社図書館流通センター
〒112-8632 東京都文京区大塚3-1-1
- 株式会社丸善ジュンク堂書店
〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町11-24
- 丸善出版株式会社
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17
神田神保町ビル6階
- 株式会社hontoブックサービス
〒141-8001 東京都品川区西五反田3-5-20
DNP五反田ビル

◆ 役員

| | | | |
|---------|-------|--------------------|-------|
| 取締役会長 | 中川 清貴 | 取締役 常勤監査等委員(社外) | 瀬川 静真 |
| 代表取締役社長 | 松尾 英介 | | |
| 常務取締役 | 五味 英隆 | 取締役 監査等委員(社外) | 茅根 熙和 |
| 取締役 | 矢野 正也 | | |
| 取締役 | 細川 博史 | 取締役 監査等委員(社外) | 大胡 誠 |
| 取締役(社外) | 舟橋 宏和 | | |

株主優待として、 商品券を同封しております

100株(1単元)以上保有されている株主様が対象です。

毎年7月31日現在の保有株式数に応じて、全国の丸善、ジュンク堂書店の店舗*でご利用いただける商品券を、年1回、9月下旬にお送りしております。

***** よくあるご質問 *****

- Q おつりは出ますか？
申し訳ございませんが、おつりはお出ししておりません。額面以上でのご利用をお願いいたします。
- Q 有効期限はありますか？
有効期限はございます。ご送付の翌年11月末日まで有効です。

※詳細はこちらを
ご覧ください。 ★商品券に同封の「ご利用店舗一覧」
★当社ホームページ

株主優待のページはこちら

<https://www.maruzen-chi.co.jp/ja/ir/stock/yutai.html>



この報告書は、FSC® 認証紙と、環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しております。

知

BUSINESS REPORT

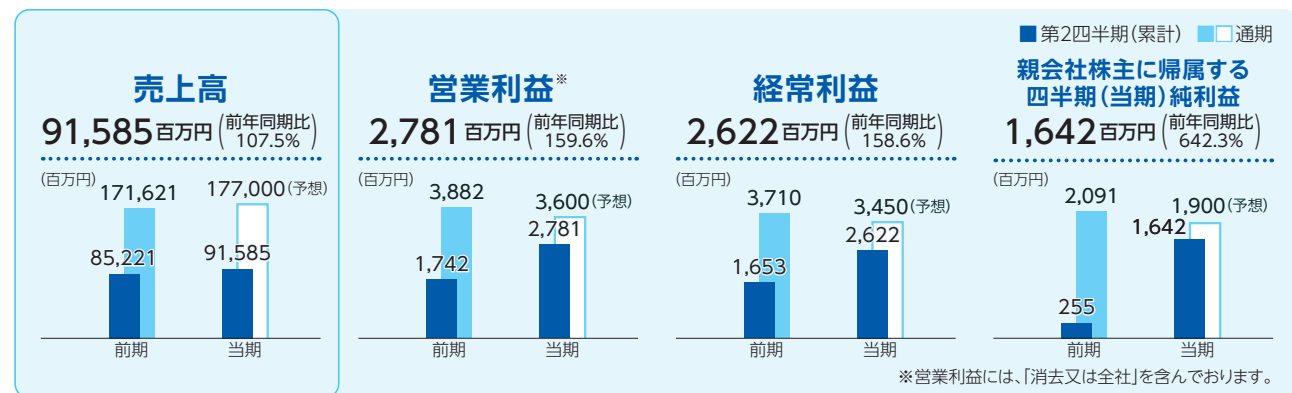
株主・投資家の皆さまへ

第12期(第2四半期累計) 2021.2.1 - 2021.7.31

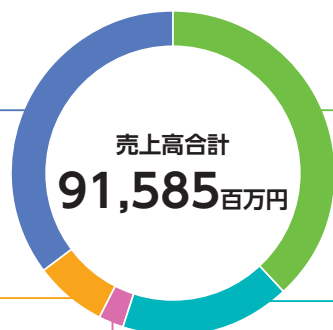
丸善CHIホールディングス株式会社

証券コード: 3159

連結業績サマリー



売上高構成比



文教市場販売事業 35.2%

売上高 32,275百万円(前年同期比 106.2%)
営業利益 2,404百万円(前年同期比 142.5%)

●コロナ禍において電子図書館、書籍除菌機の需要が前年に引き続き堅調であったこと、また教育・研究施設、図書館などの設計・施工において大型案件の完工が増加した結果、売上高は322億75百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益は24億4百万円(前年同期比42.5%増)と増収増益となりました。

その他事業 7.1%

売上高 6,494百万円(前年同期比 97.0%)
営業利益 213百万円(前年同期比 69.9%)

●Apple製品やパソコンの修理等の事業及び総合保育サービス事業は概ね計画通り推移しましたが、店舗内装業においてコロナ禍の長期化により、主要顧客の投資意欲が戻らず、大型の新店・リニューアル店などの案件が減少し、前年に引き続き受注減となりました。その結果、売上高64億94百万円(前年同期比3.0%減)、営業利益2億13百万円(前年同期比30.1%減)と減収減益となりました。

店舗・ネット販売事業 38.1%

売上高 34,873百万円(前年同期比 112.4%)
営業利益 382百万円(前年同期比 -)

●前年は新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発出及び自治体からの各種要請を受け、4月から5月に全国ほとんどの店舗で休業もしくは営業時間短縮を余儀なくされましたが、当該期間における営業自粛、営業時間短縮等の対応は地域・期間ともに限定的で、感染対策・衛生管理を徹底した店舗運営に努めた結果、売上高は348億73百万円(前年同期比12.4%増)、営業利益は3億82百万円(前年同期1億88百万円の営業損失)と増収増益となりました。

図書館サポート事業 17.1%

売上高 15,664百万円(前年同期比 104.5%)
営業利益 1,099百万円(前年同期比 86.4%)

●図書館受託館数は期初1,676館から5館増加し、2021年7月末時点では1,681館(公共図書館553館、大学図書館228館、学校図書館他900館)となり堅調に推移しております。その結果、売上高は156億64百万円(前年同期比4.5%増)と増収となりました。一方利益面では、コロナ禍における図書館の休館などもあり図書館内設備の更新等の整備作業が3月に集中したことによりコストが増加したため、営業利益は10億99百万円(前年同期比13.6%減)と減益となりました。

ご挨拶



丸善CHIホールディングス株式会社
代表取締役社長 松尾 英介

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの2022年1月期第2四半期累計業績は、前年同期に新型コロナウイルス感染症拡大により業績への大きな影響があったことから、売上高は915億85百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益は27億81百万円(同59.6%増)、経常利益は26億22百万円(同58.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億42百万円(同542.3%増)と、増収増益となりました。なお、当第2四半期累計期間の業績は、新型コロナウイルス発生以前の2019年1月期第2四半期累計期間と比較しましても、売上高が0.7%増、営業利益37.9%増、経常利益34.3%増、親会社株主に帰属する四半期純利益は14.6%増と増収増益となっております。

セグメント別業績につきましては、文教市場販売事業は、大学等における教科書販売が通販型の導入が進んだこともあり、コロナ禍においても順調に推移し、増収増益となりました。店舗・ネット販売事業は、前年が緊急事態宣言による臨時休業等で大きく売上を落としましたが、当第2四半期累計期間は一部で臨時休業等はあったものの、前年との比較では影響は限定的で、また業務の効率化も進んだことから増収増益となりました。図書館サポート事業は、業務受託する図書館での経費支出がコロナ禍の影響で3月に集中したこともあり、増収ですが減益となりました。出版事業では、大学向け教科書が順調に推移し、増収増益となり、その他事業セグメントでは、書店や小売店向けの内装・設備事業がコロナ禍による改装・出店案件の大幅な減少で、減収減益となりました。

以上のとおり当第2四半期累計期間の業績は概ね順調に推移いたしました。これは上記取り組みのほか、大学・公共図書館への電子図書館システムや電子教材等の拡販、セルフレジの導入やITを活用した書店業務の効率化推進、感染予防対策を徹底した安全・安心な図書館運営など、コロナ禍における顧客ニーズへの対応を進めた結果と考えております。

新型コロナウイルスの感染拡大は1年半を超えて続いており、皆様の暮らしはもちろん、多くの企業・団体にとって大変厳しい環境が継続しております。当社グループでも、引き続きテレワークの推進や、図書館・店舗等での感染防止の徹底を最優先に、社会・経済活動の変化に対応した事業モデルの構築に努めてまいりますので、株主の皆様には、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

宮城県利府町の文化複合施設「リフノス」の運営を開始

丸善雄松堂を代表企業とする共同企業体「利府みらいクリエイティブ(同社、アクティオ(株)、(株)東急コミュニティ)」が指定管理者となり、2021年7月より宮城県利府町の文化複合施設「リフノス(図書館、公民館、文化ホール、カフェ等)」の運営を開始し、オープン早々、町内外の大勢の方々にご利用いただいております。

「リフノス」は、利府町が掲げる「個性ある文化を発信するまち」の実現を目指す、住民が主役となり、共に成長し、そして未来へ繋いでいく「生涯学習」「文化・芸術活動」「交流」の拠点です。

丸善雄松堂は全体統括のほか図書館とカフェの運営を担っており、今後は施設全体を活用したイベント企画、地元食材を活かしたメニュー提供などで地域活性化に寄与するとともに、利府町での経験を基にさらなる地域創生に貢献してまいります。



リフノス外観



リフノス利府町図書館

米国議会図書館と「Maruzen eBook Library」の導入契約を締結

丸善雄松堂が独自開発・運営する日本最大の学術・研究機関向け電子書籍配信プラットフォーム「Maruzen eBook Library」が、米国議会図書館(Library of Congress)より採択を受け、2021年6月から館内閲覧用に電子書籍を配信することが可能になりました。

米国議会図書館は世界最大の研究図書館です。同館のアジア部門は膨大な日本の刊行物・情報を所蔵していますが、書籍についてはこれまで、一部を除き事実上冊子体での取書に限られてきました。丸善雄松堂は米国子会社Maruzen Internationalと長年にわたり連携しながら、電子書籍の導入による利便性の高い取書を提案、交渉した結果、今回の成約となりました。

これをきっかけに、国内出版社や著者、海外の日本研究者や学生の皆様の期待に応えられるよう、日本研究等の学術資料・情報を海外へ発信する選択肢のさらなる充実に取り組んでまいります。



コーポレートサイトをリニューアルしました

この度、コーポレートサイトをリニューアルし、URLが下記のとおり変更になりました。

今回のリニューアルでは、ページ構成を見直し、新しいコンテンツも追加いたしました。また、スマートフォンやタブレットでの表示にも対応し、各デバイスから閲覧できるように改善しております。

今後もコーポレートサイトを通じて、ステークホルダーの皆様により充実した情報を発信できるよう努めてまいります。

新URL ▶ <https://www.maruzen-chi.co.jp>

ライフスタイル提案型の文具・雑貨専門店の3店舗オープン

2021年3月に丸善 浦和伊勢丹店(埼玉県さいたま市)及び丸善 広島三越店(広島県広島市)、8月には丸善 プライムツリー赤池店(愛知県日進市)と、3つの文具専門店のオープンいたしました。

これら3店舗は「Interior Life Style & Stationery」を基本コンセプトに、日常に欠かせないベーシック文具をはじめ、暮らしのシーンを切り口に編集した雑貨やコスメ、季節を愉しむアイテムを集めたシーズンイベント、親子で楽しめる知育商品など、日々の生活の「心地の良さ」を演出する商品を展開しています。

明治2年の創業以来、書籍だけでなく、万年筆をはじめとした文具などを海外から輸入し「西洋の文化」を紹介してきた丸善は、令和の今も時代に即したセレクトで新しい生活スタイルを提案してまいります。



浦和伊勢丹店



広島三越店



プライムツリー赤池店

(株)富士山マガジンサービスと提携し、電子雑誌配信サービスを開始予定

図書館流通センターは、2021年3月に業務提携した(株)富士山マガジンサービスとともに、提携後初めてのプロジェクトとなる「電子雑誌配信サービス」の実施に向けて取り組んでおります。

2022年4月からの開始を目指した本サービスでは、主に公共図書館を中心に提供している電子図書館プラットフォーム「LibrariE & TRC-DL」を経由して、(株)富士山マガジンサービスが取り扱う100タイトル以上の電子雑誌をパッケージ提供、バックナンバーを含め読み放題として配信し、ご利用いただくことを検討しています。

本サービスの開始に先立ち、2021年10月より実証実験を行う予定です。

世界的ベストセラー『プレゼンテーションZen 第3版』刊行とオンラインイベント開催



丸善出版では、世界20か国以上で発売されているプレゼンテーションテキストの決定版『プレゼンテーションZen』の第3版(日本語版)を2021年5月に刊行いたしました。この日本語版では、昨今の社会情勢を踏まえ「オンラインプレゼンテーション」に関するオリジナルの解説が追加されています。

7月には本書の刊行を記念して、日本マイクロソフト(株)との共催によるYouTube Liveイベント「Digital Presentation Zen“オンライン時代の伝える力”」を開催しました。本書の内容を在宅勤務でのWeb会議やオンライン授業などに役立てていただくことを意図した本イベントでは、著者のガー・レイノルズ氏が読者からの質問にリアルタイムで回答するコーナーを設けるなど、読者との新しいコミュニケーションの形を実現いたしました。

連結財務データ

◆ 財政状態 (単位:百万円)

| | 当第2四半期末 (2021年7月31日現在) | 前期末 (2021年1月31日現在) |
|--------------|---------------------------|-----------------------|
| 総資産 | 123,331 | 134,440 |
| ●流動資産 | 85,865 | 96,759 |
| ●固定資産 | 37,437 | 37,638 |
| (有形固定資産) | 22,882 | 23,207 |
| (無形固定資産) | 1,474 | 1,549 |
| (投資その他の資産) | 13,080 | 12,880 |
| ●繰延資産 | 28 | 43 |
| 負債 | 80,122 | 92,874 |
| ●流動負債 | 57,726 | 70,030 |
| ●固定負債 | 22,396 | 22,844 |
| 純資産 | 43,208 | 41,565 |
| ●株主資本 | 42,401 | 40,917 |
| ●その他の包括利益累計額 | △ 395 | △ 604 |
| ●非支配株主持分 | 1,201 | 1,253 |

◆ 損益の状況 (単位:百万円)

| | 当第2四半期(累計) (2021年2月1日から 2021年7月31日まで) | 前第2四半期(累計) (2020年2月1日から 2020年7月31日まで) |
|-------------------|---|---|
| ●売上高 | 91,585 | 85,221 |
| ●営業利益 | 2,781 | 1,742 |
| ●経常利益 | 2,622 | 1,653 |
| ●親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,642 | 255 |

◆ キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)

| | 当第2四半期(累計) (2021年2月1日から 2021年7月31日まで) | 前第2四半期(累計) (2020年2月1日から 2020年7月31日まで) |
|---------------------|---|---|
| ●営業活動によるキャッシュ・フロー | 11,834 | 8,340 |
| ●投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 761 | △ 2,950 |
| ●財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 10,047 | △ 6,035 |
| ●現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 10 | △ 0 |
| ●現金及び現金同等物の増減額 | 1,014 | △ 646 |
| ●現金及び現金同等物の期首残高 | 22,667 | 22,344 |
| ●合併に伴う現金及び現金同等物の増加額 | — | 44 |
| ●現金及び現金同等物の四半期末残高 | 23,681 | 21,743 |

グループ一覧

当社グループは、日本の知の発展のために、紙や電子の垣根を越えて、あらゆる利用者が「必要なときに、必要な形態で」知を得ることのできる快適なプラットフォームを提供してまいります。



株式情報 (2021年7月31日現在)

◆ 株式の状況

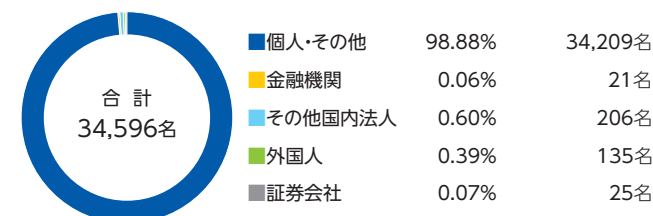
| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 240,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 92,554,085株 |
| 株主数 | 34,596名 |

◆ 大株主一覧

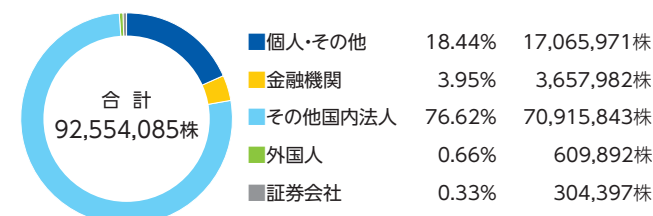
| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|---------------------|------------|---------|
| 大日本印刷株式会社 | 49,528,336 | 53.51 |
| 株式会社フォルトウナ | 5,317,810 | 5.74 |
| 株式会社講談社 | 4,028,000 | 4.35 |
| 株式会社トーハン | 3,694,406 | 3.99 |
| 有限会社淳久堂 | 2,848,000 | 3.07 |
| 株式会社小学館 | 2,203,500 | 2.38 |
| 丸善CHIホールディングス従業員持株会 | 1,481,477 | 1.60 |
| 工藤 恭孝 | 1,390,800 | 1.50 |
| 石井 昭 | 1,306,426 | 1.41 |
| 公益財団法人図書館振興財団 | 919,368 | 0.99 |

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

◆ 所有者別株主分布状況



◆ 所有者別株式分布状況



※個人・その他には自己株式6,832株を含んでおります。

株主メモ

| | |
|-----------|--|
| 事業年度 | 毎年2月1日から翌年1月31日まで |
| 基準日 | 毎年1月31日 |
| 株主総会 | 毎年4月 |
| 1単元の株式数 | 100株 |
| 公告の方法 | 電子公告による公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 |
| <公告掲載URL> | https://www.maruzen-chi.co.jp |
| 上場 | 東京証券取引所市場第一部 |
| 証券コード | 3159 |

株式事務の取扱場所

| | |
|---|--|
| 株主名簿管理人及び特別口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内1-4-1 三井住友信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人 同事務取扱場所 [郵便物送付先] [電話照会先] | 〒168-0063 東京都杉並区和泉2-8-4 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 電話フリーダイヤル0120-782-031 |
| 同取次窓口 | 三井住友信託銀行株式会社全国各支店 |

住所変更、単元未満株式の買取、 配当金受取方法の変更等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金のお受け取りについて

ゆうちょ銀行などでの払渡期間を経過した配当金のお受け取りについては、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
当社は、定款の定めにより、配当金のお支払期限を支払開始から3年としております。配当金はお早めにお受け取りください。